

2. プログラム

主 催：鋼橋技術研究会（企画担当：藤野 陽三，越後 滋，高田 和彦）
協 賛：土木学会鋼構造委員会，日本鋼構造協会，日本鉄鋼連盟，日本橋梁建設協会
日 時：2007年11月29日（木）13:30 - 18:00 （懇親会 18:30 - 20:00）
場 所：東京大学 小柴ホール（懇親会は学士会分館にて行います）

プログラム：

1. 開会あいさつ（13:30-13:40） 鋼橋技術研究会 会長 藤野陽三（東京大学）
2. 特別講演（13:40-16:50）
 - 1) 「アメリカの落橋事故を他山の石として」 依田照彦（早稲田大学）
 - 2) 「アメリカの橋梁点検の現状と課題」 高木千太郎（東京都）
 - 3) 「木曾川大橋：トラス斜材の腐食による破断」 山田健太郎（名古屋大学）

< break > （15:10-15:20）

 - 4) 「メンテナンスにおける重要課題」 疲労破壊の制御をどうする？
三木千壽（東京工業大学）
 - 5) 「橋を守る人と技術」 西川和廣（国土交通省）
 - 6) 「なぜ日本の橋は落ちていないのか？」 リダンダンシーが橋を救う
鋼技研特別検討チーム
3. 自由討論（16:50-17:50）

「日本の鋼橋を考える」 司会 藤野陽三（東京大学）
4. 閉会あいさつ（17:50-18:00） 鋼橋技術研究会 技術委員長 森猛（法政大学）